

6

産業発展と人口増加が急速に進む南アジア

○気候の違いを生かした農業

南アジアの農業:各地方の気候の違いを生かした農作物を栽培

- ガンジス川流域:降水量が多く、(米)の栽培が盛ん
- インダス川流域:降水量が少なく、(小麦)の栽培が盛ん
- 北西部やデカン高原:乾燥しており、(綿花)の栽培が盛ん
- アッサム地方やスリランカ:降水量が多く、(茶)の栽培が盛ん

人口増加による食料不足

→作物の品種改良や化学肥料の普及で、インドやパキスタンで米や小麦の生産量増加

○南アジアで成長する産業

インドの工業

- 綿工業や製鉄業の発達:国内で生産される綿花や、鉄鉱石・石炭などが原料
- 1990年代の工業化:外国企業の進出による自動車産業が中心
- (ICT(情報通信技術)関連産業 *)の急速な発達

※(ICT(情報通信技術)関連産業)とは、パソコンやインターネットなど、情報や通信に関連する技術を用いた産業のこと

インドでICT 関連産業が発展した背景

- ①数学の教育水準が高い
- ②英語を話せる技術者が多い
- ③カーストの影響をあまり受けなかった
- ④国や州が技術者を育成する教育機関や研究所をつくった

バングラデシュ・パキスタンの工業

→安価な労働力が豊富で、中国から外国企業の工場の移転が進む

例) バングラデシュでは縫製業が成長

○人口大国が抱える貧困層の問題

インドの都市部の工業化

→一方で農村部は発展が遅れ、多くの貧困層を抱える

インドの出生率:現在でも高い

→貧しい人々にとって子どもは重要な労働力

インドの教育水準の格差

→高い教育を受けた人材が多いが、読み書きができない人口の割合も高い